

平成21年3月9日付け津市監査委員告示第1号公表分

(1) 久居総合支所

地域振興課（産業環境課 榊原自然の森温泉保養館（当時））

監査の結果	同館（湯の瀬）の収支状況について、平成19年度の実質的な単年度収支を見ると、設備の老朽化による多額の修繕費を要するなど、2,000万円を超える赤字（久居総合支所産業環境課作成資料）が生じている。平成20年度においては、各種イベントの開催など集客に努めているが、今後も施設の修繕費が見込まれるなど、収支状況の改善は厳しいことから、地方財政法第6条及び同法施行令第37条第11号の趣旨を踏まえ、特別会計化により経営成績及び財政状況を明確にするなど、一層の経営改善に努めるとともに、民間が経営する温泉旅館などに与える経済的な影響を十分に検証の上、今後の施設の在り方を検討されたい。
措置の内容	当施設（湯の瀬）の運営については、令和元年9月9日付けで、官民連携により、設計、施工及び管理運営を全て民間に委ねる方式を基本とした事業者募集を行い推進する方針を決定した。  この方針に基づき、今後、施設の魅力をさらに高め、一層の集客・収益の向上による経常収支の改善を図るとともに、納付金（賃貸借に相当する金額）を市へ納付することの可能性を有する民間事業者を公募型プロポーザル方式により募集し、令和2年度中に事業者の決定を行う予定である。

(2) 美杉総合支所

地域振興課（産業環境課 美杉地域産物加工販売施設（当時））

監査の結果	同施設（道の駅美杉）の収支状況について、平成19年度の実質的な単年度収支を見ると、約94万円の赤字（美杉総合支所産業環境課作成資料）が生じている。平成20年度においては、サンクスフェスタの開催など集客に努めているが、今後も施設の修繕費が見
-------	---

	<p>込まれるなど、収支状況の改善は厳しいことから、地方財政法第6条及び同法施行令第37条第11号の趣旨を踏まえ、特別会計化により経営成績及び財政状況を明確にするなど、一層の経営改善に努められたい。</p>
措置の内容	<p>平成23年度から事業別予算の中事業化を図ることで、財政状況の明確化を図った。収支状況の改善については、今後もこけ玉づくり教室、絵手紙教室及び美杉田舎暮らし（休日相談窓口）を開催するなど創意工夫して経営改善に取り組む。</p>